

大交流時代への新たな航海!

～海・しま・大地とひとが奏でる活みなぎるまちづくり～

広報 ひらど

Hirado City Public Information

迎春

Contents

新年のごあいさつ、新年の抱負	▶P02
特集 虫の目を持つカマラン 栗林 慧	▶P04
財政危機宣言⑥	▶P08
オランダ館復元計画	▶P10
まちのできごと	▶P12
まちのひとびと	▶P16
受賞おめでとうございます	▶P18
観光人材育成プロジェクト	▶P19
みんなの図書館 サン・ケア平戸通信	▶P20
平戸遺産～「大島の石造文化財Ⅰ」～	▶P22
Ho i! ひらど おしえて年金	▶P23
隆乃若翁戦記 伝建NEWS	▶P24
平戸市からのお知らせ	▶P25
情報ひろば	▶P30
人口の動き・編集室から	▶P32

ヨイシヨ!ヨイシヨ!
～志々伎小学校の親子もちつき大会～

2007

1

January

No.016

賀春

新年のごあいさつ



平戸市長 信 白濱

新年明けましておめでとうございます。平成19年の新春を、健やかに迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。私も、新市の市長として2回目の新年を迎えることができました。毎年のことながら、その使命と責任の重大さに身を引き締めるとともに、平戸市の将来を真剣に見極めながら、確かな方向づけを図っていかねければならないと、心を新たにしています。

さて、昨年は市町村合併後、実質的に初めての新市の予算執行となりました。限られた予算の中で、事業の必要性、緊急性といった取捨選択を行い、漁港や道路の整備のほか数多くの事業を実施してきました。また、新市誕生記念式典を始め、合併記念事業としてNHKのど自慢を行い、観光地「平戸」を全国にPRできたのではないかと考えています。

このような中、国の逼迫した財政状況を背景に「三位一体の改革」が強力に推進され、地方交付税や国庫補助負担金の削減など、地方の財政状況は更に厳しい状況となっています。本市においても、非常に厳しい社会経済状況が続いています。このような状況を踏まえ、行政改革大綱と実施計画(集中改革プラン)を作成し、行財政コスト削減に努めており、行財政運営の更なる効率化の推進と協働のまちづくりを着実に進めなければなりません。特に私は就任以来、「公平・公正・清潔」を信条に「市民のために何ができるか」を常に考え市政推進に努めるよう職員に伝え、意識改革を図ってきました。本年はこの精神をより徹底させ、行政課題が山積みする中、厳しい情勢を乗り越え、地域の魅力を高め、だれもがこの地域に住み続けたいと思えるような、魅力あふれるふるさと「平戸」を市民のみなさんと一丸となつてつくり上げていく所存です。

今後、市民のみなさんの要望に適切に応えるため全力で取り組んでいきます。市民のみなさんには、引き続き力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が素晴らしい年となりますよう祈念して、新年のごあいさつといたします。



平戸市議会議長 川淵喜代美

新年あけましておめでとうございます。平戸市議会を代表しまして、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。市民のみなさんには、日ごろから市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。次第でございます。

さて、昨年の9月定例会において平戸市議会議長に就任し、その責務の重大さをひしひしと痛感していますとともに、今後とも開かれた議会と市民のみなさんの信頼に応えるべく、議会の先頭に立って微力ながら最善の努力を傾注してまいります。

ご承知のとおり、わが国の社会経済情勢は、大都市では比較的明るい兆しが見え始めたといわれていますが、地方は公共事業の削減などにより、今なお厳しい局面におかれ、実感的には引き続き厳しい状況から脱しきれないような気がしてなりません。

今や、平戸市はもとより、多くの地方自治体においては危機的な財政状況の中で市議会挙げて自立した自治体の構築を図るべく、行政改革に鋭意取り組んでいます。こうした激動の時代にあつて、健康で豊かな市民生活の向上を図るには、市民と行政が良好なパートナーシップのもと、あらゆる面においてともに考え、時代の変化に対応すべきであると考えます。

議会としましては、市政発展のために市民のみなさんのご意見を大切に、豊かさや活気みなぎるまちづくりに向け、研鑽、努力をしてまいります。

最後に、この一年が市民のみなさんにとって幸せ多い年でありますようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年の抱負

New Year's Resolution



亥年 2007



虫の目を持つカメラマン

生物生態写真家

特集

Special Edition

栗林

SATOSHI
KURIBAYASHI

慧



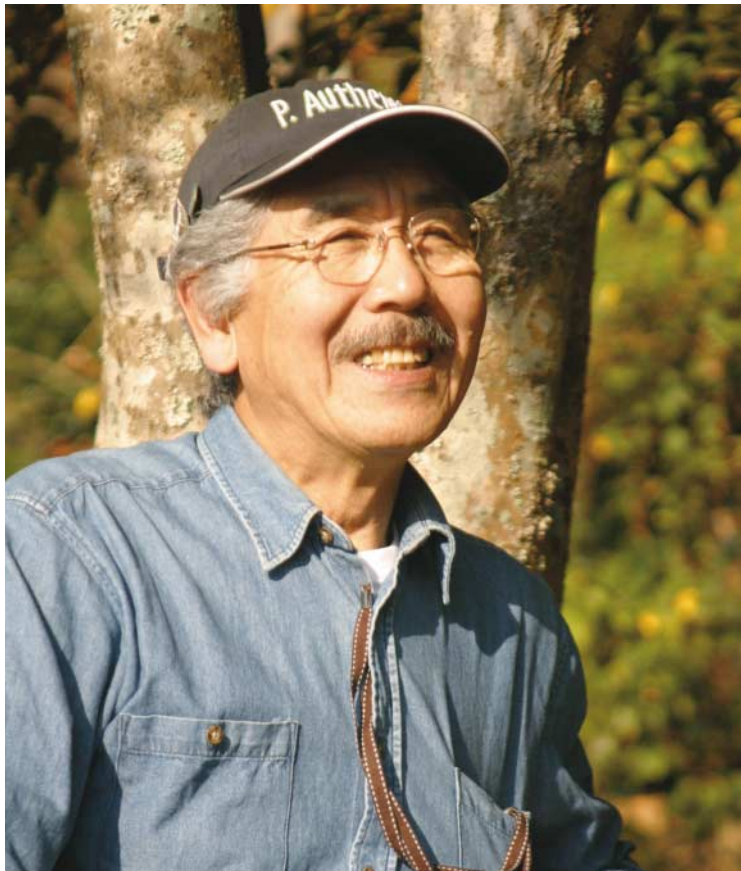
日本人初の受賞
「レナート・ニルソン賞」

まるで恐竜のいる世界に迷い込んだかと間違えてしまうほどの圧倒的な存在感を放つ昆虫写真の数々。虫の目線で映し出された昆虫の豊かでユーモラスな表情は、見た人を驚嘆させる。

今年11月2日、スウェーデンのストックホルム市で、科学写真のノーベル賞ともいわれる「レナート・ニルソン賞」の授賞式が行われた。この賞を日本人で初めて受賞した写真家が平戸市内にいる。生物生態写真家として田平町を拠点に世界中で活躍している栗林慧さんだ。

「受賞するまでこんな賞があるとは知りませんでした。受賞の連絡があったときは飛び上がるほど嬉しかったです。世界に認めてもらえて嬉しい」科学写真のルーツはヨーロッパ。今回受賞した事で、世界から認められたと言っても過言ではない。

今月号では、日本人初の「レナート・ニルソン賞」の受賞記念として、「虫の目を手に入れたともいわれる栗林慧さんに迫る。」



◎Profile

栗林 慧

(くりばやし・さとし)

生物生態写真家

田平町下寺免・67歳

中国・瀋陽生まれ。昆虫などの生物写真を専門とする。

医療用内視鏡などを基に、独自開発したレンズで撮影した写真は、国内外で高い評価を得ている。

DVDや写真集など多数出版。

日本写真協会年度賞など多数受賞している。

自然を相手にした 仕事をしたい

「昆虫」との出会い
「写真」との出会い

昭和14年、栗林さんは中国・瀋陽で生まれる。昭和17年、栗林さんが3歳の時、父の故郷であった田平町に移住。昭和25年に東京へ移るまでの少年時代を田平町で過ごす。家から一歩外に出ると、そこはもう栗林さんにとって格好の遊び場だった。今のよう

たのがきつかけだ。アマチュアカメラマンとして、小さいころから好きだった昆虫を被写体に撮影を始めた。

写真始めて数年、自分の写真の力を試そうと各種コンテストに応募。昭和39年、昭和41年の間には、ペンタックス国際写真コンテスト、アンスコカラーフォトコンテスト、学研フォトコンテストなどで、推薦・最優秀賞を連続受賞した。

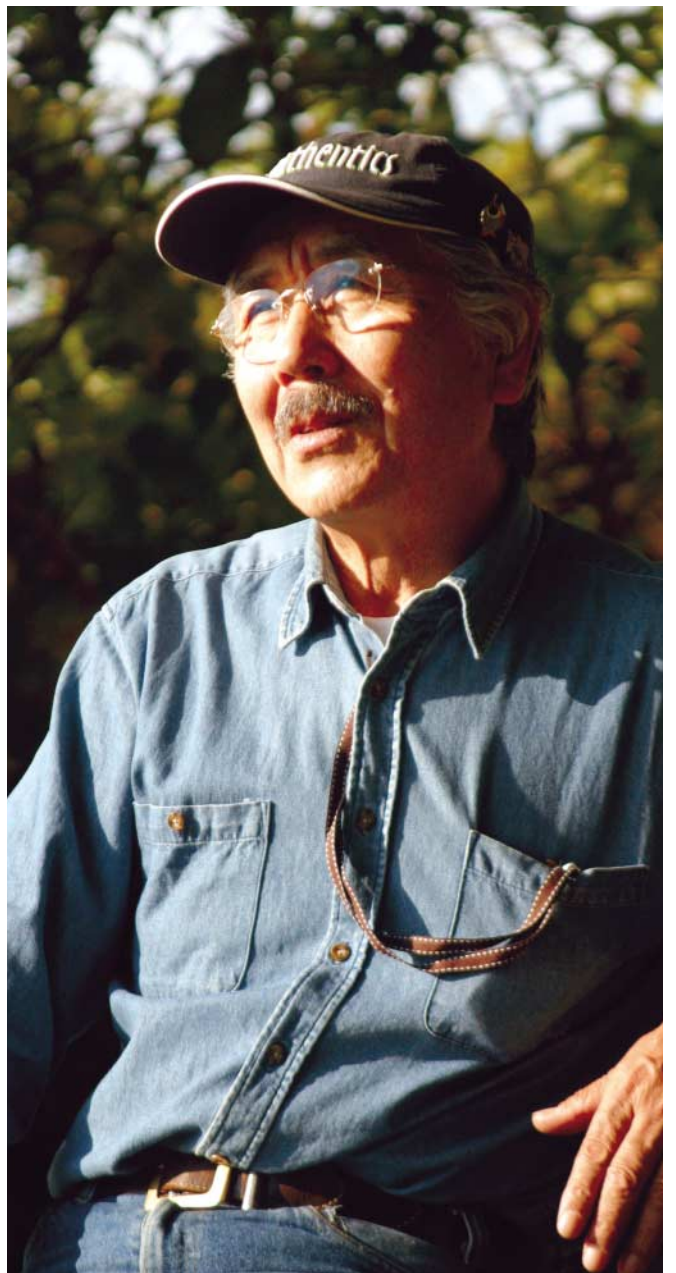
昭和44年、栗林さんはプロの生物生態写真家として活動を始める。プロになるきっかけは十分だった。「プロのカメラマンになったのは自然を相手にした仕事を選んだ結果でもありますね。コンテストで受賞したことで手応えを感じました」と栗林さんは過去を振り返った。

その後プロとして本格的に活動を始めた栗林さんは昭和53年「日本写真協会新人賞」受賞、昭和54年「Nicon Salon」写真展「源氏螢」で「伊奈信男賞」受賞、平成3年

「西日本文化賞」受賞、平成4年「日本写真協会年度賞」受賞、SONYハイビジョンソフト「ファーストシリーズ・トンボ」で地球環境映像祭・国際高品位映像祭の「ハイビジョン撮影賞」受賞、平成12年第41回科学技術映像祭で「内閣総理大臣賞」を受賞するなど、日本中で脚光を浴びる。

栗林さんは、医療用内視鏡などを基に独自に考案した接写技術で、写真やビデオ映像で虫の目線での撮影に成功。その接写技術は、日本国内ではもちろん世界中で高い評価を受ける。





「蟻」を撮る技術があれば どんな昆虫でも撮影できる

エンジニアとしての
もう一つの顔

栗林さんがここまで高い評価を受け続けるのも、独自で考案した接写技術のたまものである。通称「虫の目レンズ」といわれるこのレンズは、虫の目線からの撮影を可能にした。

「カマキリの下から怪獣み

たいに撮れたらおもしろい」と写真をはじめたころそう思った。最初の被写体を選んだのは「蟻」だった。「蟻は最も身近な昆虫の一つで生活を持っていた昆虫。だけど意外に蟻を接写した写真がなかったんです。蟻を撮れる技術があればどんな昆虫でも撮影できると思うたんです」と栗林さんは話した。市販されているカメラではも

ちろん撮影することはできないし、接写用のマクロレンズを持ってしても、それは不可能である。ならばと栗林さんはレンズ作成も自分で手がけた。それからは試行錯誤の連続だった。

「出来上がったカメラの数よりぶっ壊したカメラの数の方が断然多いですね」と栗林さんは笑った。医療用の内視鏡

▶カメラの先端に内視鏡レンズなどを駆使して独自開発した「虫の目レンズ」で地表2ミリからの撮影に成功した。



のレンズや測量用、防犯用のレンズを駆使して20年近く改良に改良を重ねた。

そして、試行錯誤の結果、手に入れたのが「虫の目レンズ」である。通常の接写用のレンズは手前の昆虫などを映すことはできても、背景などはぼやけてしまう。しかし、このレンズは、昆虫だけでなく背景なども鮮やかに撮影することができると特徴だ。

これまで手がけたレンズは30数本。そのどれもがさまざまな撮影用途に応じたもの。しかし、いまだに満足はいく

レンズは完成したことがない。冬場になると、昆虫の活動が夏場より少なくなるので、栗林さんは撮影の合間をぬって、レンズ作りに励む。こんな写真を撮りたいと欲が出るたびにレンズを作る。撮りたい写真は、自分の手で撮影を可能にする。決してあきらめない気持ちで新技术を次々と生み出した。カメラマンとしての欲がエンジニアとしてのもう一つの顔を作り出した。工作が得意だった少年時代、レンズ作りはその頃の延長線上にあるのかもしれない。





自然の素晴らしさを 伝えたい

帰郷したのは昭和51年、37歳の時だった。「自分を自然の中におかなければいけない」と思い帰ってきました」と栗林さん。11歳の時に上京してから26年の歳月が経っていたが、田平町は昔と変わりなく

手付かずに残された自然は幼いころの記憶のままだった。「もし、田平町が都会化していたら戻っていなかったでしょうね」栗林さんの記憶に強烈に残る夕焼けに浮かぶ平戸島のシルエットは今も昔のままだという。

田平町に事務所とスタジオを構えた栗林さんだが、撮影は日本国内だけでなく外国にも及ぶ。オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、中国、台湾など世界各国を股にかける。今年の5月には南米のエクアドルで40日間の撮影に挑み、少年時代の憧れでもあった世界最大のカブトムシ「ヘラクレスオオカブト」の撮影に成功した。



の方が大きいですね。自然は未知の部分が多いので楽しいことばかりです」

昆虫の撮影には根気が必要で、昆虫と対峙したらひたすらチャンス waited なければならぬ。撮影したいシチュエーションのためなら、2時間でも3時間でも待つ。撮影のポイントとは、昆虫の動きに合わせる。撮影中、蚊やダニ、ヒルなどに噛まれても我慢しなければならない。動く昆虫が逃げることは誰でも

容易に想像できるだろう。ただ黙ってジッとそのチャンスを狙い続ける。「簡単にあきらめない。誰も撮ったことがない写真を自分で撮るんだ」と食欲に栗林さんは撮影に臨む。撮影中の栗林さんはまるで自然と同化しているようだ。田平町には、たばら昆虫自然園がある。そこには約3千種類を超える昆虫が生息し、季節の変化の中でさまざまな昆虫を生きたまま観察することが出来る。同園は栗林さんの撮影ポイントの一つでもあり、観察会などにも参加し、子どもたちと触れ合う機会もある。

「昆虫は子どもが身近に相手にできる命。写真を通じて自然の素晴らしさを子どもたちに伝えたい。そこに住む生き物たちを理解して、記録し発表すること、子どもたちに命の大切さを学んでほしい」と栗林さんは話した。

大自然を相手に撮影を初めて約40年。それでも撮影のたびに自然の驚異に感動させられる。「興味がずっと湧く世界ですね。体が動く限りずっと撮影を続けたい」虫の目を持つカメラマン・栗林慧さんの挑戦はまだ続く。

財政危機宣言

～抜本的な行財政の健全化に向けて⑥～

市では、平成19年度の予算編成に向け、昨年11月に予算編成方針を策定し、現在、予算の編成を行っています。

予算の成り立ちは、直接事業を行っている各担当課が編成方針を基本に予算を要求し、財政課、市長の査定を経て、予算案を作成します。その後、議会に議案として提出し、議決を経て成立します。

危機的な財政状況の中にあっても、限られた財源で効率的、重点的に予算を配分し、市民のみなさんの要望に応えていかなければなりません。

そこで今回は、平成19年度の当初予算編成の考え方について説明します。

平成19年度予算編成方針

昨年11月8日に各課に対して示した、平成19年度の予算編成についての基本的な考え方は、

・財政健全化を最重要課題とし、平成19年度を『財政再建元年』と位置づけ、策定中の『財政健全化計画』に基づいた予算編成を行い、歳出総額抑制を図るため『枠配分方式』の試行導入を行う。

・事務事業の思い切ったスクラップ・アンド・ビルド方式を先例や慣行にとらわれることなく徹底することにより、この財政危機からの脱却を目指す、全庁挙げて取り組みとしています。

また、財政健全化を最重要課題としていることから、平成21年度までに計画的に財源不足（赤字）額14億円を解消します。

具体的には、平成18年度では1億円、19年度では7億円、20年度では

3億円、21年度では3億円の合計14億円を解消することを目標としています。

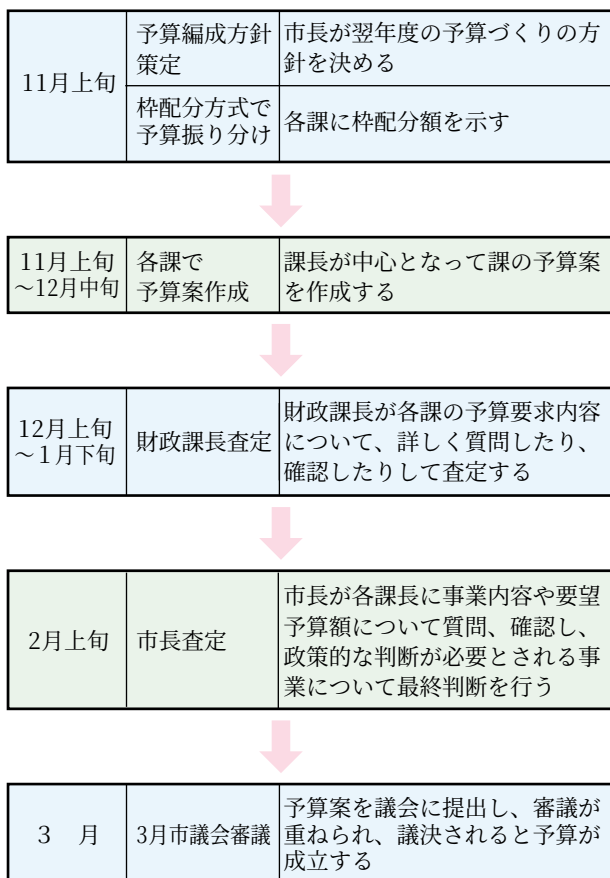
平成19年度予算は「枠配分方式」で編成

これまでの予算は、各課が実施しようとする事業の予算を要求し、これらの一つひとつの予算要求について、財政課がその必要性、金額などを査定し、その後、市長査定を経て予算案をまとめ上げていました。これを積み上げ方式といいます。

財源不足が生じている中で、この方式による歳出削減では、新規事業の抑制や事業の一律カットなどにな

りがちで、根本的な財源不足の解消ができにくく、本来の事業の重要性や、必要性に的確に対応するのが難しくなると言われています。そこで、平成19年度予算は、すべて積み上げ方式としていたものを、一部、課ごとに財源を配分し、その範囲内において、各課の責任で事業を取捨選択し、計画的に財源不足を解消することとしました。多額の財源不足を解消するために、無駄な経費はないのか、今、市民のみなさんから何を求められているのかなど、「最少の経費で最大の効果」が図られる予算編成方法としています。

当初予算編成の流れ



予算編成の進め方

まず、平成19年度の一般財源（市が独自に用途を決められる財源）がどのくらいになるかを見込みます。

現時点では、平成18・19年度の赤字解消目標額8億円を縮減して約144億8千万円（前年度比3・3%減）と試算しています。

次に、歳出を積み上げ方式と枠配分方式に分けます。積み上げ方式とする経費は、義務的要素が高く市独自の判断で容易に削減することが困難であると判断されるものや、年度間において予算額の増減が激しいことが予測されるものです。

具体的には、人件費、扶助費、公債費の義務的経費を始めとして、病院事業会計などの企業会計・特別会計への繰出金、北松北部環境組合などの一部事務組合負担金、道路整備事業等の建設事業などとし、この経費に必要な一般財源（約119億4千万円）を差し引きます。この残りの金額25億4千万円（前年度比1億9千万円減、7%減）を各課に配分しました。

この結果、財源不足額は平成18年度当初予算14億4千万円から8億円

◎枠配分方式導入による予算要求枠の考え方

①歳入一般財源の試算

18年度				
歳入一般財源総額 149億8千万円				
市税 25.4億円	地方交付税 92億円	譲与税等 10.9億円	その他 7.1億円	財源不足額 14.4億円
↓				
19年度				
市税 28.3億円	地方交付税 95.6億円	譲与税等 8.1億円	その他 6.4億円	財源不足額 6.4億円
歳入一般財源総額 144億8千万円				

改善し、6億4千万円となる見込みとなります。この財源不足の補てんは、財政調整基金および減債基金からの取り崩しによって対処することになっています。

現在、各課からの要求内容について、

②歳出予算要求枠の配分

18年度					
歳出充当一般財源総額 149億8千万円 積み上げ方式					
人件費 38.7億円	扶助費 10.9億円	公債費 35億円	建設事業 7億円	繰出金等 30.8億円	経常的経費等 27.4億円
↓					
19年度					
人件費 36億円	扶助費 11億円	公債費 33.8億円	建設事業 7億円	繰出金等 31.6億円	経常的経費等 25.4億円
積み上げ方式119億4千万円					枠配分方式 25億4千万円

て、財政課で査定中です。今後2月上旬には市長によって総合的・政策的見地からの査定が行われ、当初予算案を作成して、3月の定例議会で審議されることになります。

従来どおり積み上げて要求

配分額の範囲内で要求

□ ■ 用語解説

◆一般財源

財源の用途が指定されていないもので、市税、地方交付税、地方譲与税などを含みます。反面、用途が特定されているものを特定財源といい、国庫支出金、県支出金、地方債などを指します。

◆スクラップ・アンド・ビルド方式

新しい施策や事業の拡大（ビルド）をする場合は、まず既存の施策や事業を見直し、廃止や統廃合（スクラップ）をして、全体として経費などが増加しないようにする方式のことをいいます。なお、この用語は組織を管理する場合などでも用います。

◆財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するための基金。大規模施設を整備するため、通常よりも多くの一般財源が必要となる年度や、歳入が大幅に減少した年度などに、取り崩して使います。

◆当初予算と補正予算

予算には当初予算と補正予算の2種類があります。当初予算とは、年間予算として年度の初めに成立した基本の予算をいい、補正予算とは、すでに成立した予算に対して、経費の不足や予算作成後に生じた事由に基づき追加・変更を行うために編成され、議会に提出される予算をいいます。

お問い合わせ

財政課財政班（☎内線2352）

甞る平戸オランダ商館

1639年築造倉庫の復元に向けて

—復元計画の概要をお知らせします—

平戸オランダ商館は、1609年から1641年まで存続したオランダの貿易拠点で、大正11年10月12日、「平戸和蘭商館跡」として国の史跡に指定されています。

平戸オランダ商館には、当時我が国唯一の洋風住居や倉庫が建築されました。商館の代表的建物である1639年築造の石造倉庫は、1638年に建築が計画され、同年12月から工事を開始し、翌年7月に完成しています。大きさは長さ約46m、幅約13m、外観や構造はオランダ建築ですが、日本瓦を用いるなど、日本建築の要素も認められる建物でした。

本市では平成8年に、歴史・建築史・考古学の専門家で構成する専門委員会を発足させ、石壁の基礎や礎石跡などに関する発掘成果、オランダ商館の仕訳帳や日記などの文献史料、オランダやインドネシアの倉庫建物について、専門的分野での検討を行ってきました。その復元設計の作製は非常に困難で、日本やオランダでの検討会、古建築の調査などを行ってきました。

商館全体の復元整備については、石垣などの遺構の補修や展示、建物復元、果樹園整備などを行うことで、基本的了承を得ていました。平成17年度は発掘調査や設計を行い、本年度は当時の石垣の解体補修を行い、実質的な事業を開始しました。

商館跡の復元整備計画の中心をなすのが、1639年に築造された倉庫の復元です。その復元設計については、平成17年2月に文化庁復元検討委員会へ申請し、検討をお願いしていたところ、基本的に了承され、今年11月に正式に文化庁より現状変更の許可を得ることができましたので、市民のみなさんに報告します。



◀ 完成イメージ

平戸オランダ商館の歴史

- 1609年 平戸オランダ商館の設置
- 1628年 タイオワン事件により商館閉鎖
- 1632年 貿易再開
- 1639年 大型の洋風石造倉庫を築造
- 1640年 幕府により洋風建物の破壊命令
- 1641年 オランダ商館、長崎出島へ移転



▲ 計画概要図

平戸オランダ商館跡復元整備計画のスケジュール

平成17～18年度	1639年築造倉庫復元実施設計
平成18年度	東側石垣修復工事
平成19年度	西側石垣修復工事
	1639年築造倉庫、基礎工事着工
平成21年度	1639年築造倉庫、復元完成
平成22年度	果樹園・オランダ井戸周辺・オランダ堀など、周辺環境整備
※平成19年度以降は予定	

復元施設の活用計画

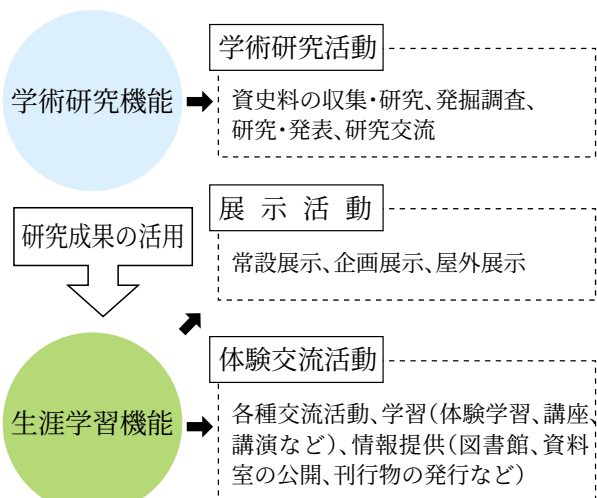
復元施設は歴史的建造物を資料に基づいて忠実に復元したものであり、この点を最大に生かして日蘭関係を紹介する展示、体験交流、学術研究活動の3つの分野において活用します。

復元施設の展示計画については、海外交流前史、日蘭交流のあゆみと平戸、商館と1639年築造倉庫の徹底解剖、史跡への誘いというテーマで構成します。

また、体験交流活動については、日蘭交流の歴史と現代の交流を体験し、これからの国際交流のあり方を創造し、地域に寄与することを目的とします。活動の空間としては復元施設や史跡全体を有効に活用し、史跡や復元倉庫の雰囲気を生かしながら自由度の高い多岐にわたる活動プログラムを提供し、外部へ情報を発信します。

また、体験交流の実施にあたっては、市民のみなさんや利用者が積極的に参加し、情報の受信、企画提案を柔軟に受け入れるシステムを構築していきます。

～事業の3つの柱～



▲活用イメージ of Bengal 市民学芸員の募集

あなたも平戸オランダ商館復元施設の多様な分野での運営に参加してみませんか

- ・復元施設の利活用の企画立案
- ・展示の構成
- ・史跡全体の活用
- ・歴史実習、資料の取り扱い、商館の歴史に関する講話 など

◎特典

- ・復元施設の年間無料入場
- ・復元施設主体事業への優先参加

「平戸オランダ商館」 復元に関するお問い合わせ

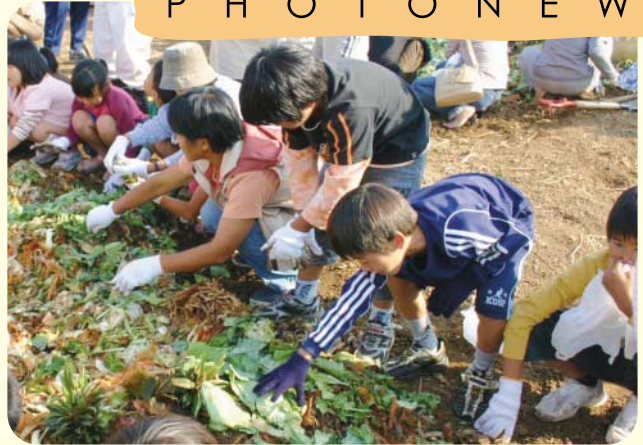
文化振興課和蘭商館復元推進室

☎内線2634 Fax 22-2878

E-mail bunka@city.hirado.lg.jp

生ごみリサイクルでまちづくり

10月29日、生月町元触地域交流センターで「第2回まちづくり大会」が開催されました。講師に吉田俊道先生をお招きし「生ごみリサイクル元気野菜作り」と題して講演。生ごみリサイクル方法や野菜の皮の栄養素の高さについて講演していただきました。講演終了後、ごみリサイクルによる土作りの実践を行い農業の熟練者から子どもまで約230人が参加。子どもたちは「良い土できろ～」と言いながら手で生ごみと土を交ぜていました。また、土作り終了後は、味覚体験として野菜の皮を使った各種料理の試食会も行われました。



日ごろの練習の成果を披露 生月町文化祭

11月4日、5日の両日、生月町中央公民館で、第26回生月町文化祭の美術工芸作品展が、また同月19日、生月町開発総合センターで音楽芸能発表会が行われました。作品展には絵画や生け花、写真や書道など約440点の作品が出展されました。音楽芸能発表会では、公民館活動やサークル活動の発表の場として、121人が出演。日ごろの練習の成果を真剣にそして楽しく披露しました。会場には、約600人の市民のみなさんが訪れ、それぞれの発表に対し大きな拍手が送られていました。



少年の主張 堂々と

11月11日、生月町開発総合センターで、第23回生月地区少年の主張大会が開催されました。発表では生月地区の各小・中学校で選ばれた10人の児童生徒が出場し、日ごろの生活の中で感じたことや考えたことを発表しました。10人の児童生徒たちの発表はいずれも素晴らしい内容ばかりで、審査員も選考に大変苦労したようです。最優秀賞受賞者は次のとおり(敬称略)。

○最優秀賞 山下 里菜(山田小6年)
柿本 千裕(生月中2年)



ふるさとの思い出話に華咲かせ

平戸・松浦・北松地区の出身者でつくる「東京・平戸北松会」(上野實会長)が、11月18日、平成18年度の総会を東京都内のホテルで開催しました。当日は、会員、来賓あわせて約200人が出席。会場では、平戸市の物産販売や、特産品の抽選会なども行われ、故郷の香り満載の総会となり、にぎわいました。

公務で上京中の白濱市長と共に松浦市長も出席し、会員のみなさんとふるさとの今後を展望し、話題や思い出話に華を咲かせました。また、田平町出身の歌手カミタミカさんも駆けつけ歌を披露しました。

平戸の特産品求め大にぎわい！

11月18日、19日の両日、平戸港交流広場で、平戸市秋の産業まつり「平戸よかよかじまん市」が行われました。会場には、市内52事業所のテントが軒を連ね、平戸の特産品などを買い求める観光客や家族連れ約1万5千人の人出でにぎわいました。今年は目玉として、平戸、生月、田平、大島の4地区によるくじら料理の試食会が行われ、各地区が趣向を凝らして作ったくじらカレーやくじら汁などが振舞われました。また、初の試みとしてよかよかじまん市と平戸焼きの透かし彫り体験などを盛り込んだ日帰りツアーも行われました。



女子の部で大根坂チームが2連覇

11月19日、大島中学校体育館、大島小学校体育館で、公民館対抗バレーボール大会が開催されました。男子の部7チーム、女子の部6チーム約130人が参加し、日ごろの練習の成果を競い合いました。ちょうどこの時期に世界バレーが開催されていたこともあってか、素晴らしいプレーが随所に見られ、観客からも驚きの声や拍手が送られました。なお、優勝チームは次のとおりです。

「男子の部」優勝 的山在公民館
「女子の部」優勝 大根坂公民館(2連覇)



県内の伝統芸能を舞台で披露

11月19日、平戸文化センターで、第3回長崎県子ども伝統芸能大会(県教委主催)が行われました。この大会は、子どもたちにふるさとの歴史や文化に誇りを持ってもらい、伝統芸能の保存と継承を推進しようと毎年開催されています。市内での開催となった今大会は、市内から田助ハイヤ節保存会と荻田浮立保存会、猶興館高校大島分校(=写真、流儀)のほか、県内から3つの団体が出演し伝統芸能を披露しました。

また、特別出演として平戸神楽振興会による国指定無形民俗文化財の「平戸神楽」も披露されました。



旬の味覚に舌鼓

11月23日、生月支所前漁港用地広場で、いきつき勇魚まつりが行われました。当日は天候が悪く、雨風の強い中での開催となりましたが、市内外より約2,000人が訪れました。農産物、水産加工品などの品評会表彰と産業功労者の表彰が行われた後、バザーでは特産品や鮮魚などを買い求めにぎわったほか、キャラクターショーや魚の数量当てなどでは、子どもたちも参加してにぎわいました。カキの磯焼きでは「去年食べて、今年も必ず行きたいと思ってきました」という人もいたほどで、たくさんの人が旬の味覚に舌鼓を打っていました。



平戸市陸協チームが優勝 北松縦断駅伝

11月26日、第43回北松縦断駅伝競走大会(松浦市役所～佐々町役場、7区間41.3km)が行われ、市内から、一般の部に平戸市陸協、田平体協A、田平体協B、フリーの部に平戸陸上クラブの計4チームが出場し、力強くタスキをつなぎました。一般の部に参加した平戸市陸協チームは、1区、5区、6区と3つの区間賞を取り見事優勝しました。優勝した平戸市陸協のメンバーは次のとおり(敬称略)。

【監督】大山 弘之【走者(1区から順に)】宮崎隆弘(=写真右端)、谷本 雅嗣、青木 茂人、末吉 直孝、指方 闘志、松永倉次郎、谷本 優也



隆乃若関がふるさとへ帰郷 市長表敬も

生月町出身の力士隆乃若関が九州場所を終え、ふるさとの生月町へ帰郷しました。11月29日、帰郷した隆乃若関は、生月支所や学校を訪問し歓迎をうけました。

翌日は、市役所を訪れ、ロビーで職員や市民のみなさんから激励の拍手を受けた後、市長が「今回は残念な結果でしたが次の場所では頑張ってください」と激励しました。その後、応接室に場所を移し後援会の人たちと一緒に巡業の話などで和やかに歓談しました。

「あんもーち、よい」の元気な声

12月1日早朝、平戸に師走の訪れを告げる伝統行事「あんもちよい」が行われました。夜明け前の市街地にあんもちを売り歩く子どもたちの元気な声が響くと、楽しみに待っていた人たちが、玄関先などで縁起物のあんもちをいくつも買い求める姿が見られました。この行事は、江戸時代から旧平戸城下に300年以上も伝わり、夜明け前にもちを食べると水難から免れ、また、跡取り息子に商いのやり方や早起きの習慣をつけさせようという商家の思いが込められていると伝えられています。



市民とプロのオペラ歌手が共演

12月1日、平戸文化センターで、ザビエル生誕500年を記念するオペラ「ザビエル」の公演があり、市民のみなさんなど約1,300人が鑑賞しました。ザビエルは、キリスト教宣教師として知られ、この平戸の地でも宣教した人物です。このオペラは公募で集まった約90人の市民のみなさんがコーラスやエキストラとして出演。コーラスは8月から、エキストラの立ち回り演技は11月から練習を重ねてこの日の本番を迎えました。会場を訪れた市民のみなさんからは、市民とプロの共演に盛大な拍手が送られました。



命やいじめ問題など 堂々と意見発表

12月2日、田平町民センターで、第24回田平地区少年の主張発表大会(田平町青少年健全育成会主催)が行われました。発表では、田平地区の各小・中学校から選ばれた8人が出場し、命に関することやいじめ問題など、日ごろの学校生活などで感じたことや考えたことを、堂々と発表しました。

また、特別意見発表として、日本学校農業クラブ全国大会で、文部科学大臣賞・最優秀賞に輝いた北松農業高校の永田愛里(3年)さんの作文発表も行われました。



掛け声あわせ 足並みそろえ

12月2日、市総合運動公園で、小学生10人11脚(5人6脚)競争大会が開かれました。市内12校からあわせて43チーム、325人が出場。高学年は10人11脚、低学年は5人6脚で、50メートル競争のタイムを競いました。大会結果は次のとおり。

- 高学年の部(10人11脚)
 - 優勝 初代いなかつペガールズ(紐差小)
 - 準優勝 Snake Puma(田助小)
 - 準優勝 ねしっ子トゥエルブファイトでGO!(根獅子小)
- 低学年の部(5人6脚)
 - 優勝 生月ファイターズ(生月小)
 - 準優勝 宝亀ファイターズ1(宝亀小)
 - 3位 キラキラスマイル(中野小)



地域が学校を 学校が地域をつくる

12月4日、平戸市ふれあいセンターで、子育て講演会(中部地区子育て支援団体連絡協議会主催、山田能新会長)が開催され、中部地区の保護者のみなさんや教育関係者など約260人が参加しました。講師に、佐世保教育事務所の池田浩課長を迎え、「地域をあげて子育て―地域が学校を創る。学校が地域をつくる―」と題して講演。池田課長は、自身の教育現場での実体験を交えながら「学校には学校の、地域には地域のみなさんにしかできないことがある。学校と地域が一体となって子どもたちを育てましょう」と訴えました。



プロの技術に感動 料理講習会

12月8日、平戸高校で、「親と子の郷土料理講習会」が開かれました。講師に、市内ホテル調理長の中村友文さんと同ホテルのチーフシェフ松尾伸幸さん、平戸食中毒防止懇話会の濱川学さんを迎え、お正月料理の調理方法の実演、指導を受けました。お正月料理には欠かせない野菜に切り目を入れて花などをかたどる飾り切りの実演には、生徒らもプロの技に感動。参加したみなさんは、講師のアドバイスを聞きながら、煮物やだし巻き卵、巻きずしなど5品を親子仲良く調理しました。



Town's
People

ま ち の ひ と び と

Club Introduction

クラブ紹介

CLOSE
UP!

「(仮称)大島村ママさんバレーボールチーム」



「メンバー募集！チーム名も募集しています！」

(仮称)大島村ママさんバレーボールチームは、大島村の若いママさんが中心のバレーボールチームで昨年10月20日に結成したばかりのチームです。健康維持とメタボリックシンドローム予防を目的に毎週練習しています。今後の目標は、各種大会への参加(6人制)と優勝することです。(仮称)大島村ママさんバレーボールチームでは、現在チーム名と部員を募集しています。初めての人も経験者の人も一緒にバレーボールを通じて健康づくりを始めてみませんか？お気軽に見学してください！



活動DATA

活動日／金曜日 午後8時～午後10時
活動会場／大島中学校体育館
対象者／18歳以上の女性
連絡先／代表宅 ☎55-2383
部員数／15人
参加費／月額 500円
代表／大浦 孝志さん(大島村神浦)

「サウス・ビガーズ(南部の元気っ子)」



「キャッチボールのできない子どもをなくそう！」

サッカーブームの到来で、最近の子どもはキャッチボールができない。そんな人たちの悩みを解決しようと2年前志々伎小早福分校の子どもたちを集めて野球教室を始めたのがきっかけでした。以来、毎週土曜日に練習を行い、今では堤小や中津良小、津吉小からも野球を楽しむ子どもが参加しています。もちろん女の子たちも参加しています。野球で一緒に汗を流してみませんか？自分の隠れた才能が見つかるかもしれません。興味のある人や野球の好きな人は一度遊びに来てください！



活動DATA

活動日／土曜日 午前9時～正午
活動会場／市多目的研修センターグラウンド
対象者／小学生(南部地区在住)
連絡先／(向)まるご ☎27-0059
部員数／25人
参加費／月額 500円
代表／五嶋慎太郎さん(津吉町)



まつやま さとみ
松山 里美さん (24歳・木場町)
「毎日子どもたちと楽しく過ごしています！」

■勤務先

社会福祉法人
聖婢姉妹会 東和愛児園

■ニックネーム

さとみ、まっちゃん、さとさん

■性格は？

明るくて社交的、少し人見知り

■趣味・特技

バドミントン(下手の横好き)、サックス

高校卒業後、愛知県の短大に進学した松山さんは、在学中に保育士の免許を取得。大学卒業後、地元の東和愛児園に就職しました。現在の受け持ちは1歳児。園児と一緒に、歌を歌ったり、踊ったり、散歩に行ったりと毎日楽しく過ごしているそうです。松山さんは、「子どもたちの記憶に残るような印象的な先生になりたいです」と笑顔で話していました。



☆☆☆ Happy Birthday ☆☆☆
★お誕生日おめでとう！★ **1月生まれ**



毎日楽しく
保育園に通っています！

はしもと きな
橋本 希菜ちゃん
(H18.1.29生)

～誠義さん・麻衣子さんの長女～
《田平町小手田免》



お兄ちゃんと仲良く
これからも元気で大きくなってネ！

うめもと りょうま
梅本 稜真くん
(H17.1.3生)

～菜都紀さんの次男～
《田平町荻田免》



いつもニコニコ笑顔が
トレードマーク！

すとう はるな
須藤 遥奈ちゃん
(H18.1.11生)

～博文さん・実雪さんの次女～
《鏡川町》

募集しています

大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「平戸のわっかもん」

平戸のまちで働く“わっかもん”を紹介します。自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」

スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介しします。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「Happy Birthday」

発行月にお誕生日を迎える3歳までのお子さんを募集します。掲載は先着3人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。

○応募方法 写真にお子さんの名前（ふりがな）・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはEメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載するとは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町 1508 番地 3 企画課地域振興班 E-Mail kikaku@city.hirado.lg.jp

CONGRATULATION

受賞おめでとうございます

県民表彰



地方自治功労

生月町里免
森 隆 俊さん(69歳)

昭和50年4月生月町議会議員に当選以来、6期22年間在職し、その間、平成7年5月から平成9年3月までの1年11か月の間生月町議長を歴任されました。平成9年10月から平成17年10月まで生月町長に8年間在職し、生月町発展のために多大な貢献をされました。



社会福祉功労

大久保町
上尾アイ子さん(69歳)

市社会福祉協議会の訪問介護員として、昭和56年1月から平成9年3月までの16年3か月および平成10年4月から平成17年12月まで同協議会の登録ヘルパーとして7年9か月、通算24年1か月の長年にわたり、在宅福祉の向上に努め、社会福祉の増進に貢献されました。



教育文化功労

田平町山内免
伊藤 光彦さん(74歳)

歯科医師として地域医療に精励する傍ら、昭和44年から現在まで、通算37年7か月の長年にわたり、平戸市立田平北小学校および田平東小学校の学校歯科医として従事し、児童の健康管理・保健教育に努め、学校教育の円滑な推進に大きく寄与されています。



産業功労

生月町里免
増山 博さん(81歳)

(社)長崎県港湾漁港建設業協会の理事や副会長として、また、(社)長崎県建設業協会の理事、長崎県漁場整備開発協会や生月町建設業協会の役員など長年にわたり歴任され、同協会の発展に尽力されるとともに、長崎県建設業の発展に大きく寄与されました。



特別賞

大島村前平
永田 愛里さん(17歳)

第57回日本学校農業クラブ全国大会意見発表会において最優秀賞・文部科学大臣賞の栄誉に輝き、本県農業教育水準の向上に貢献されました。



特別賞

田平町下寺免
栗林 慧さん(67歳)

科学分野で優れた写真を撮った人に贈られる「レナート・ニルソン賞」を受賞し、本県科学写真技術水準の向上に貢献されました。

青少年育成国民運動40周年記念 青少年育成功労者賞



下寺区青少年健全育成会(田平町)

長崎県明るい選挙啓発ポスターコンクール 長崎県選挙管理委員会委員長賞



永田 美樹さん(平戸中3年)

観光産業を核に、地域の活性化と雇用の創出を目指します!

観光 平戸・松浦地区 人材育成プロジェクト

Human Resource Development Project for Tourism in Hirado and Matsuura

このプロジェクトは、「特産品開発」、「食・地産地消」、「もてなし」、「体験型観光」の4つの分野における人材を育成し、地域産業の再生による雇用の創出を目的に実施しています。

1月から新たに、市民のみなさんが観光客をもてなす際に必要となるノウハウを、基礎知識～事例検証～現場体験と段階的に学ぶ「地域おもてなしセミナー」を開催しますので、たくさんの参加をお待ちしています。なお、受講料は無料です。

■もてなし人材コース

○サービス接客セミナー

観光サービス業における個人客や外国人への対応について学びます。

回	と き	摘 要
4	2月2日(金) 午前10時半～正午 平戸文化センター 会議室A	「おもてなしの心づくり」 ～サービスとホスピタリティの極意～ ■講 師 福島 規子 氏(旅館コンサルタント) ■内 容 接客に必要な基礎知識を様々なエピソードを交えながらわかりやすくお話しします。また、最近、よく耳にする「ホスピタリティ」という言葉についてもサービスとの違いをもとに紐解いていきます。

○地域おもてなしセミナー

地域で観光客をもてなすために必要なノウハウについて学びます。

回	と き	摘 要
1	1月12日(金) 午後2時～午後4時 平戸文化センター 会議室A	「ホスピタリティとサービスはどうちがう？」 ～あなたを魔術師にする小さな心構え～ ■講 師 松坂 健 教授(西武文理大学教授) ■内 容 サービスは決められた“業務”で、ホスピタリティはその時、その場、その人だけが出来る「心配り」。サービスを超えて、人にサプライズを与えるホスピタリティの本質をお伝えします。
2	2月16日(金) 午後2時～午後4時 平戸文化センター 会議室C	「のぼせものの情熱」 ～長崎さるく博を支えた市民パワー～ ■講 師 桐野 耕一 氏(長崎さるく博市民プロデューサー) ■内 容 長崎さるく博の立ち上げから開催、そして、まちづくりにまで発展する経過を現場ならではのエピソードを織り交ぜて話します。
3	2月24日(土) 午前9時～正午 平戸文化センター 会議室C ・ 平戸市内観光コース	「観光ガイドで心も体もリフレッシュ！」 ■講 師 NPO法人 平戸観光ウェルカムガイド ■内 容 実際に参加者が観光のお客様として参加していただき、ガイドの案内により史跡を巡りながら、観光ガイドのノウハウ、魅力、コミュニケーションについて学びます。

■お問い合わせ

平戸・松浦地区観光人材育成協議会事務局（観光商工課内）

☎内線 2 2 7 6 E-Mail kankou_jinzai@city.hirado.lg.jp

※ どなたでも参加可能ですが、参加を希望する場合、事前に申込みが必要です。

平戸図書館 ☎22-4017

[1月の休館日]

年始(元旦～3日)

毎週月曜日(8日、15日、22日、29日)

今月
おすすめ
本



ちりめんのつまみ細工

著者名/穂積 和代
出版社/日本ヴォーグ社

捨てるに捨てられない余り布の切れっ端に、新たな命を吹き込みましょう。江戸時代から伝わる日本古来の伝統的手芸「つまみ細工」で彩る、四季のかんざしやお手玉、インテリア小物などのアイテムと作り方をやさしく紹介します。

- 月下の恋人/浅田 次郎
- 還らざる道/内田 康夫
- Kの日々/大沢 在昌
- 海/小川 洋子
- 真鶴/川上 弘美
- 絶対、最強の恋のうた/中村 航
- 藤澤周平未刊行初期短編/藤澤 周平
- 寂聴と巡る京都/瀬戸内寂聴
- 小さい母さんと呼ばれて チベットの、私の故郷/クンサン・ハモ
- 図解いちばんやさしい青色申告書2007/徳野 文明
- すぐに役立つ土地建物の法律しくみと手続き/高橋裕次郎
- 東日本と西日本 列島社会の多様な歴史世界/大野晋ほか
- わかりやすい育児・介護休業法/吉川 照芳
- 一人で学べる ザックサクザック!
- 押しよせるおいしさのパイ/弓田 亨
- 確実に強くなるママさんバレー絶対上達/美業之日本社

一般書

今月
おすすめ
本



天と地の守り人 第1部

著者名/上橋菜穂子
出版社/偕成社

行方不明の新ゴ皇国皇太子チャグムを救出すべく、女用心棒バルサはひとり、ロタ王国へとむかう…。『精霊の守り人』にはじまった壮大な物語の最終章、3部作の第1弾。

児童書

- ねぎぼうずのあさたらう その6
- みそだまでんごろうのわるだくみ/飯野 和好
- ぼいにもそのあいをください/宮西 達也
- ともだちおまじない/降矢 なな
- あけましておめでとう/村上 康成
- 十二支のことわざえほん/高畠 純
- しっかりはしれば/五味 太郎
- せんべせんべやけた/ましませつこ
- とうさんはタツノオトシゴ/エリック・カール
- 冬の龍/藤江じゅん
- 一億百万光年に住むウサギ/那須田 淳
- 新編弓張月 上/曲亭馬琴
- ストラヴァガンザ 花の都/メアリ・ホフマン
- 奇オヘンリー・シュガーの物語/ロアルド・ダール
- 鳥瞰図でみる日本の城/PHP研究所
- 親子で楽しむ「めう」と「あむ」/熊田 まり

●1月の主なもよおし●

- 赤ちゃんおはなし会 9日(火) 10:30～
- おはなし会 毎週土曜日 14:00～

永田記念図書館 ☎28-0128

[1月の休館日]

年始(元旦～3日)毎週月曜日(8日・15日・22日・29日)

蔵書点検のため(22日～25日)

今月
おすすめ
本



はじめてのUSEDショップ

著者/バウンド
出版社/技術評論社

古くて奥深く味わいのあるモノ、こだわりぬいた1点1点には、ショップオーナーの愛を感じます。この本には、そのようなこだわりのお店を開きたい人のための、実例&開業情報が満載です。

- 整理する技術が面白いほど身につく本/壺阪 龍哉
- 学校事故から子どもを守る/児玉 悦子・鈴木世津子
- 「叱らない」しつけ子どもがグングン成長する親になる本/親野智可等
- あなたの心筋梗塞・脳梗塞の危険度と予防策/毛利 博
- たすけて歯医者さん/三番町なんでも調査団
- Wordでテキパキ! 定型処理&日常業務/西上原裕明
- おいしいチョコレートのレシピ/小田真規子
- 発酵の力を暮らしに土に 米ぬかことん活用読本/農文協
- 水彩画 これ一冊で ほかとにじみがわかる!/青木 美和
- こんなまち、こんな暮らしなら行ってみたい/農文協
- 誰でもできるトリアスロン/トリアスロンを楽しむ会
- PAY DAY!!!ペイ・デイ/山田 詠美
- 一瞬の風になれ ①/佐藤多佳子
- 火の鳥 (乱世編) 上/手塚 治虫
- 火の鳥 (羽衣編) 下/手塚 治虫

一般書

今月
おすすめ
本



おんちゃんは車イス司書

絵/梅田 俊作
出版社/岩崎書店

わたしにしか経験できない宝物。いま、自己肯定感を持ってない(自分を好きになれない)子どもたちが、つぎつぎと悲惨な事件を起こしています。この絵本が、自分を好きになり、ほかの人を大切に思えるきっかけになれば、こんなにうれしいことはありません。

児童書

- ひとつ・いっぱい/杉田比呂美
- みどりののはっぱ きんいろのはっぱ/ながさわまさこ
- なつちゃん ゆきうさぎ/こいでやすこ
- さるとびつき/梶山 俊夫
- 落語絵本 たがや/川端 誠
- ころんちゃん/あきやまだし
- すてきな 三にんぐみ/トミー=アンゲラー
- おへそのあな/長谷川義史
- ウォーリーをさがせ! きえた名画 だいそうさく!/マーティン ハンドフォード
- みんなでファイファイ 早口ことば その1/ながたみかこ
- オホーツクの十二月/竹田津実
- いのちの食べかた/森 達也
- こぶた プウタ/神沢 利子
- かしいプタのロリポップ/ディック・キング=スミス
- ツバメ号とアマゾン号/アーサー・ランサム

●1月の主なもよおし●

(各土曜日・各14:00～)

- おはなし会(絵本・大型絵本・紙芝居など) 6日・20日・27日
- 映画会 13日
- アニメ文学館(9) 坊ちゃん
- 世界の名作ビデオ絵本(33) はくちょうの王子
※ゆめホールの大スクリーンにて上映しています。

※詳しくは図書館・各公民館等図書室へお尋ねください。

サン・ケア平戸通信

■平戸市保健センター(サン・ケア平戸) ☎28-1000

■生月支所市民生活課福祉保健班 ☎53-2111

■田平町福祉保健センター ☎57-0977

■大島支所市民生活課福祉保健班 ☎55-2511

「ノロウイルス」による 食中毒にご用心!

冬場を中心にノロウイルスによる食中毒が流行しています。ノロウイルスはヒトの身体に入ると下痢やおう吐、発熱などを起こす強い感染力を持っています。感染すると普通は数日で治りますが、小さなお子さんやお年寄り、下痢やおう吐で脱水症状を起こしたり、おう吐物をのどに詰まらせたりする恐れがあるので、注意が必要です。

■予防のポイント

- ・二枚貝などはできるだけ加熱して食べる。
- ・加熱する場合は中心までよく火を通す。
- ・調理する人は、トイレの後や調理前に十分手を洗う。
- ・調理器具にウイルスがつかないように消毒する。

「つつが虫病」にご注意!

県北保健所管内でつつが虫病が発生しています。みなさんご注意ください。

○つつが虫病とは...

つつが虫はダニの一種で、山林

や草地、河川敷などの土の中に生息しており、この虫に刺されると感染する場合があります。

○症状

- ・つつが虫に刺されてから7～10日ほどして発熱します。
- ・発熱と同時にまたは、2～3日後に全身に発疹が出る場合が多く、リンパ節が大きく腫れることがあります。

・大豆大の黒いかさぶたのようなつつが虫の刺し口が認められ、これが診断の決め手となります。

○予防対策

野山や河川に出かけるときや農作業の際は、次のことに注意しましょう。

- ・肌をできるだけ出さないよう、長袖、長ズボン、手袋などをしましょう。肌がでる部分には防虫スプレーを噴霧しましょう。
- ・地面には直接寝そべったり、腰を下ろしたりせずに、敷物を敷きましょう。
- ・作業中に脱いだ服やタオルなどを草の上に放置しない。
- ・野山などに行った後は衣服を十分に振り払ってから自宅に入り、すぐに入浴し、よく体を洗い、着替えましょう。

保健師だより

『運動の習慣で いつまでも若々しく!』

サン・ケア平戸
保健師 松山 恵美

年をとるにつれ、誰でも体力は衰えてきます。たとえば、男性は30歳、女性は20歳を過ぎたところから身体機能は低下をはじめ、60歳を過ぎると筋力やバランス能力、歩行機能は急速に下がります。これまで、そのような身体の機能の低下は、老化によるものなので仕方がないと言われてきました。しかし、実際は、これらの衰えの多くは、食べ過ぎや運動不足などの生活習慣や、「もう年だから」と体を使わなくなったことで体がなまった(衰弱した)からと考えられ、「生活不活発病」とも呼ばれています。なまっただまにしておく、将来的には早い時期に日常生活に支障が出るレベルに体は衰えていきますが、運動などで意識的に身体を動かすことで、何歳にな

っても筋肉を鍛えることができます。さらに、持久力や柔軟性、バランス能力なども回復することができるのです。

また、身体活動量の多い人と少ない人では、脂肪(体脂肪)を燃やす力に差があります。身体活動量が増えたと筋肉の中の血流が増え、体内に取り込む酸素量が高まり、血液の中の糖や脂肪の代謝が活発になり内臓脂肪の減少につながります。身体活動には、日常生活における労働、通勤、通学、趣味などの「生活活動」と、体力の維持・向上を目的とした「運動」があります。

さらに「運動」には、筋力運動やマシン運動など筋力の向上や骨を丈夫にする(体をつくる)運動と、ラジオ体操・ストレッチなどの血液循環や心肺機能を向上させる(体の調子を整える)運動があり、この両方をあわせて行うことが必要です。もちろん、運動だけではなく栄養バランスの取れた食事と適度な休養も大切です。

いつまでも生き生きと自分らしく輝くために、地域活動に参加したり、保健事業などを活用するなど積極的に活動することをお勧めします。



大島の 石造文化財Ⅰ Vol.15

本山神社の石鳥居



▲本山神社の石鳥居

大島村的山に本山神社がある。文治元年(1185)に源頼朝が弓矢を寄進した記録がある。この年は平氏滅亡の年である。神社の入り口に藩主松浦公が奉納した肥前型石鳥居があり、右柱に「寛永十

三年□□ 坂本与兵衛 □□肥前守源鎮信□□、左柱に「文化十一年甲戌年七月廿八日 的山在浦氏子中」とあるのは、後年の再建のことと思われる。

的台湾は遣明船の寄港など古くから海上交通の要衝として開けた天然の良港である。寛永13年(1636)の頃は、鎖国令が出され、平戸のポルトガル人が出島に移された時代である。

文化財DATA

- 名称 本山神社の石鳥居
- 種別 市指定有形民俗文化財
- 指定年月日 昭和61年1月17日
- 所有者 本山神社
- 所在地 大島村的山1658番地

天降神社の石鳥居

神浦港を見下ろす神浦の天降神社に肥前型の石鳥居がある。柱に享保2年に藩主松浦公が奉納した旨が刻まれている。鳥居の正面の建物(現在は倉庫)は江戸時代の拝殿であり、本殿は現在境内社となっている金毘羅宮で江戸中期のものとは判明している。



▲天降神社の石鳥居

天降神社の石燈籠

天降神社の肥前型鳥居の左右に石燈籠がある。享保2年、鯨組の当主井元弥七左衛門定治が奉納したものである。寛文元年(1661)ごろ、三代目政務役井元弥七左衛門義信が創業した鯨組は、創業と同時に成功し、藩の財政に貢献し、庶民の生活を救っている。



▲天降神社の石燈籠

近くの真教寺には享保9年に井元氏が奉納した梵鐘があり、創建当時の六角井戸がある。いずれも古の鯨組繁栄を伝える文化遺産である。

文化財DATA

- 名称 天降神社の石燈籠
- 種別 市指定有形民俗文化財
- 指定年月日 昭和61年1月17日
- 所有者 天降神社
- 所在地 大島村前平1351番地

文化財DATA

- 名称 天降神社の石鳥居
- 種別 市指定有形民俗文化財
- 指定年月日 昭和61年1月17日
- 所有者 天降神社
- 所在地 大島村前平1351番地

Hoi! ひらど



国際交流員
イムケ・シモニスさん

あけましておめでとうございます。日本でお正月を迎えるのは今度で4回目になりました。毎年違う所でお正月を過ごしていますが、そのたびにお正月の文化の違いを発見します。今回はオランダと日本のお正月についてのお話。

日本ではお正月に「おせち料理」を食べますが、オランダには日本の「おせち料理」のようなお正月料理がありません。オランダでは、12月31日に家族や友だちを集めて、テレビを見たり、ゲームをしたり、お菓子などを食べたりするのが習慣となっています。食べるお菓子はポテトチップのようなものもありますが、オランダにはこの時期にだけ食べる伝統的なお菓子があります。

それは、ドーナツみたいな味がするボールの形のOliebollen(オリボル)というお菓子です。このお菓子は、12月から1月中旬ぐらいまでしか食べません。生地にレーズンとリンゴを混ぜ、油で揚げて作ります。パウダーシュガーをかけて、温かいうちに食べるととてもおいしいです。私が子どものころは、家族で作っていましたが、作るのはちょっと難しく、時間もかかりますので、お店で買う人も増えてきました。お正月の花火とかも楽しかったけど、家族でこのお菓子を作ったり食べたりするのは今思うと楽しい思い出です。



■今月のオランダ語ワンポイントレッスン

Nieuwjaar(ニウ・ヤール)=お正月

Gelukkig Nieuwjaar(ヒェルキッヒ・ニウ・ヤール)=あけましておめでとうございます

「1月は社会保険業務センターから 源泉徴収票が送られてきます」

■保険福祉課国保年金班(☎内線2591) ■佐世保社会保険事務所(☎0956-34-1141)



老齢の年金は、所得税法の雑所得として扱われ、65歳未満の人でその年の受給額が108万円以上の人や、65歳以上の人で158万円以上の人の場合、規定により受給する年金額から各種控除を行い、残りの額に10%の税率を掛けた額が所得税となります。

年金以外に給与などの所得があることなどから、公的年金扶養親族等申告書を提出されていない人は確定申告により所得税の精算を行わなければいけません。その際には毎年1月中に送られてくる源泉徴収票が必要になります。2月になっても届かない時、また紛失などによる再交付をする場合はねんきんダイヤル(☎0570-07-1165)にご連絡ください。

なお、障害年金、遺族年金については課税の対象となっていないため、源泉徴収票の発行は行っていないのでご注意ください。

「誕生日の現況届の提出は原則必要ありません」

平成18年12月より、住民基本台帳ネットワークシステムを活用することにより、誕生日の現況届の提出が原則不要となっており、現況届の提出の必要のない人には社会保険庁よりお知らせが届いています。

なお、住民票コードの確認ができない人、加給年金額などの対象者がいる人、障害の程度の確認が必要な人は引き続き各種届が必要ですのでご注意ください。ご不明な点などありましたら、ねんきんダイヤル(☎0570-07-1165)にご連絡ください。

伝統的建造物群保存地区調査 大島村神浦

調査をととして神浦の町並みの発展や成立過程が判明しつつあります。建築物のうち江戸期23戸明治期34戸大正期9戸昭和前期

13戸などが判明し注目されています。

寛文元年(1661)ごろ、藩主の命により鯨組を創業した三代政務役井元弥七左衛門氏の記録によれば、当初、鯨捌所としていた西止浦(鯨の浦)が豊漁のため狭くなり、東神浦の浦浜を築きたてて鯨場とし、諸施設や居宅を建て寛文4年に前平から神浦に移住したとあります。中でも茶室兼鯨遠見所を建て、鯨見物に来島した藩主をもてなしたという茶屋の坂の石垣が現存し、試掘の結果、江戸前期の築造と判明しています。近くには井元氏奉納の天降神社の石燈籠、勘定場の井戸、真教寺の梵鐘と六角井戸、鯨の供養碑などが往古の繁栄を偲ばせています。井元氏によって鯨場と町並みが形成され、鯨組廃業後も水産業を中心とし

て出船入船の“海の宿場町”さながらに三味線島と親しまれ弦歌さんざめく賑わいであったと古老は伝えています。

神浦には1社、3寺院があり、天降神社は明応4年(1495)に大島猶通が神浦の海岸から現在地に遷宮し、自ら神職をつとめていました。その後間もなく真言宗の金剛院が開山し(草創は神亀・天平時代の性海寺と伝える)、天正16年(1588)には浄土宗の西福寺が開山、寛文7年(1667)には井元氏が木曾氏祖先供養などのため真教寺(草創は1615年)を建立しています。海岸付近は他国者などが侵入しやすく危険な面もありましたが、中世の豪族大島氏によって神浦が大島氏の館から近い港として開かれていたものと思われます。山際の海岸にそった町並みは、歴史を鎮めて今日も生き続けています。

◎1月下旬に調査報告会を予定しています。

■お問い合わせ 教育委員会大島分室(☎内線6140)

隆乃若奮戦記

先場所十両優勝を決めた我が隆乃若関は、平成18年納めの九州場所に東十両2枚目で挑みました。2日目霜鳥戦、立合い右を差すと土俵際巧く出し投げに持っていき、5日目の琉鵬戦でも、立合い力強い踏み込みで激しくぶつかり相手を起こしながら右を深く差す鋭い攻めで、最後は下手出し投げに持って行きました。7日目皇牙戦、会場では地元福岡県出身の皇牙よりも大きい声援が沸き起こっていました。立合い低く差しに來た皇牙に対しじりじりと圧力をかけ、右をおっつけ絞り上げて一気に引き落とし勝負を決めました。

この気迫溢れる隆乃若関の姿を見て、幕内復帰もそんなに時間はかからないのではと感じました。結果としては中盤以降なかなか自分の相撲を取る事が出来ずに5勝10敗の成績に終わりましたが、来場所も引き続き応援よろしくお願いします。



隆乃若プロフィール

■生年月日 昭和51年4月2日
■身長191cm 体重148kg
■初土俵 平成4年3月
■新入幕 平成11年11月

■敢闘賞 3回
■得意技 右四つ・上手投げ
■生涯戦歴 485勝434敗66休
■幕内戦歴 229勝242敗39休





区 分	地 区	保 育 所 名	定 員	電 話 番 号
公 立	生 月	生月保育所	90	53-0270
		山田保育所	60	53-1079
	大 島	大島村保育所	45	55-2006
私 立	平 戸	愛の園保育所	140	22-2244
		小鳩保育園	60	27-0333
		潮香保育園	60	22-3360
		獅子保育園	20	28-0174
		堤保育所	20	27-1084
		津吉保育所	30	27-0222
		東和愛児園	80	28-0156
		中津良保育所	20	27-0475
		中野愛児園	60	24-2358
		光の園保育園	60	23-2612
		宝亀保育園	20	28-0328
		みのり保育園	90	22-2575
	生 月	めばえ保育園	60	53-0496
	田 平	花園保育園	60	57-0744
		平戸口社会館	90	57-0236
		若葉保育園	60	57-3028

平成19年度 保育所入所申込について

☎ 福祉事務所児童福祉班
内線2571

平成19年4月から、市内の保育所に入所を希望する人は入所申込みが必要です。福祉事務所、各支所市民生活課または各保育所に申込んでください。

また、現在保育所に通所し、平成19年度も引き続き入所を希望す

る人は、継続申込手続きが必要です。各保育所で手続きをしてください。

なお、福祉事務所児童福祉班および各支所市民生活課でも随時入所の受け付けを行っています。

○申込方法

【新規】 入所申込書を提出してください。

【継続】 各保育所に継続申込書を提出してください。

※申込書関係書類は、福祉事務所

児童福祉班または各支所市民生活課、各保育所に準備しています。

また、市ホームページからもダウンロードすることができます。

※新規申込書のみ

○提出期限

【新規】 1月31日(水)

【継続】 2月16日(金)

※なお、新規申込者については、随時受付を行います。

○入所できる基準

保護者が次のいずれかに該当し、ほかにお子さんを保育する人がいないと認められる場合。

① 居宅内外の労働に従事している。
② 母親が妊娠または、産後間もない。

③ 病氣治療中、または障害を有している。

④ 親族を看護している。

⑤ その他特に保育が必要と認められる場合。

また、急な保育が必要な人には、市内全保育所で一時保育、潮香保育園では休日保育も実施しています。



「つばきの実」を 買い取ります

■ 圃田支所産業振興課
☎ 57-1111

北松森林組合が、つばき油の原料となるつばきの実を次のとおり買い取ります。

- 品 種 やぶつばきの実
(平成18年度産に限る)
- 期 限 1月15日(月)
- 買い取り価格
1キロあたり 450円
- 持ち込み場所 田平支所産業振興課および北松森林組合
- 注意事項 サザンカの実、古い実、小石などを混入しないようよく選別し、十分乾燥させて湿気のこもらないようにしてください。
- ※口座番号の分かるものをご持参ください。

「空き家」を 探しています

■ 圃企画課地域振興班
☎ 内線2336

市では、団塊の世代の大量退職に伴い、東京や大阪など都市圏などから本市へ移住したいという人

へホームページなどで住まいなどの生活情報の提供を行っています。しかし、提供する空き家物件の情報が少なく、現状では本市への定住希望者のニーズになかなか応えられない状況となっています。

つきましては、市内に空き家をお持ちの人で貸しても良いという人がいらっしやいましたらご連絡ください。

○空き家物件の条件 おおむね改修・改装費用が10万円以内の空き家物件

○その他 ご提供いただく空き家については、不動産事業者を仲介して賃貸することとなります。

「ストロベリー・パーティー」に参加してみませんか？

■ 圃・圃農業後継者結婚相談所
(農委事務局内) ☎ 内線2653

平戸の甘いイチゴを摘んで、お菓子を作りそれから楽しい交流会を開催します。素敵な人との出会いに参加しませんか？

○と き 2月11日(日)

午後1時～

○ところ 北部公民館、市内イチゴ農家ほか

○内 容 イチゴの収穫・お菓子づくり、交流パーティー

○参加要件 20歳～39歳くらいの独身女性

○申込方法 電話またはメールでお申込みください。

・メールアドレス
noi@city.hirado.lg.jp

○申込期限 1月31日(水)

○定 員 15人(先着順)

「住宅用火災警報器」を 設置しましょう

■ 圃消防本部予防課
☎ 22-3167

住宅用火災警報器は、火災により発生する煙・熱を感知し、警報音や音声で知らせるものです。特に、住宅火災により死亡する原因の7割が「逃げ遅れ」ということから、早期に火災を気付かせる重要な機能を備えています。

このたびの消防法の改正により
○新築住宅↓平成18年6月1日から

○既存住宅↓平成21年5月31日(平戸市火災予防条例)までに設置となります。

【悪質な訪問販売にご注意！】
(例)

・「全ての住宅に設置が義務付けられた。点検も義務付けられている」など、条例の内容を書き換えて販売する。

・消防職員のような服装で消防職員のふりをして販売する。(消防署が販売することはありません)

・業者による点検は必要ありません。(点検ボタンなどにより、自ら点検を行います)

○対策方法

- ①身分証明書の提示を求める。
- ②はつきりと点検を拒否する。
- ③契約書にハンコを押さない。

川内峠の野焼き

■ 圃観光商工課観光班
☎ 内線2272

草原景観の維持を目的に、平戸の早春の風物詩「川内峠の野焼き」が行われます。

○と き 2月4日(日)午前9時ごろから火入れ予定(雨天などで中止する場合は、後日に延期します)

※野焼き当日は、周辺で道路交通規制が行われる予定です。午前9時～正午までは一般車両の通行ができません。

国民健康保険の訪問事業について

■ 保険福祉課国保年金班
☎ 内線 2592

平戸市国民健康保険では、訪問による健康相談や、生活習慣病予防のための保健指導などを実施しています。

訪問の際は、証明書を提示し、訪問の目的などの説明を行うようにしています。なお、不審に感じたりした場合は、トラブル防止のため、受け答えをする前に保険福祉課国保年金班までお問い合わせください。

介護関係者研修会のお知らせ

■ 地域包括支援センター
☎ 28-1500

○とき 2月4日(日) 午後1時～午後4時30分

○ところ たびら活性化施設
○テーマ 「これからの高齢者ケアを考える」
～そこが聞きたい介護保険～

○内容 講演(講師・長崎国際大学助教授 山本主税氏・シンポジウム

○主催 平戸市・平戸市介護支援専門員連絡協議会

ご存知ですか? 「住基カード」

■ 市民課戸籍住民班
☎ 内線 2523

「身分を証明する物をお持ちください」などと言われたことはありませんか?あるいは、各種証明書の請求で市役所に出向くのが面倒だと思ったことはありませんか?「住基カード」はそんなとき便利です。

▼身分証明書の代わりに!

写真つき「住基カード」なら、運転免許証などと同様に公的身分証明として、口座開設のほか携帯電話の購入、クレジットカードの申し込みなどに利用できます。

▼住民票の広域交付が可能に!

住所地以外の市町村でも、自分の住民票の写しを取ることができます。

▼転入転出の手続きが簡単に!

これまで引越しの際に必要だった転入転出手続きも、転出届が郵送で済み、市役所に行くのは転入時の1回だけで済みます。

○申請の方法

【窓口】 本庁市民課戸籍住民班

たは各支所市民生活課、各出張所でお申し込みください。

※出張所で申請した場合は、カードの発行と受け取りが本庁または支所の窓口となりますのでご注意ください。

【必要な書類など】 運転免許証やパスポートなどの顔写真付き公的証明書と印かん

※申請は、本人に限ります。

※顔写真はカード発行の際に撮影します。

※運転免許証やパスポートなど顔写真付き公的証明書をお持ちでない人は、窓口で本人確認ができませんので、当日は申請のみでカードの発行と受け取りは後日となります。

ご協力を! 生ごみの出し方

■ 市民課環境交通班
☎ 内線 2527

大島地区を除き、「生ごみ」については資源ごみとして分別していただいています。指定生ごみ袋の中にビニール袋で包まれたものが入っていたり、逆にビニール袋の中に指定生ごみ袋が入っているものがあります。

せっかく分別していただいても紙やビニールなどの異物が混入すると、たい肥化することができません。生ごみは十分に水を切り、市指定の生ごみ専用の袋に直接入れてください。

市指定の生ごみ袋は「生分解性プラスチック」でできていますので、普通のごみ袋に比べ破れやすくなっています。今後製造するものから厚みを増し、破れにくいものとなりますが、取り扱いには十分注意してください。

「市民総合相談所」をご利用ください

■ 市民課
☎ 内線 2521

道路、年金など行政に関する相談、家庭内の問題、隣近所とのトラブル、人権に関する相談など、何か困ったことや疑問に思ったことなどありましたらお気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

○とき 1月19日(金)

午後1時～午後4時

○ところ 北部公民館

○相談員 行政相談委員・人権擁護委員・社会福祉協議会職員

農業委員会委員選挙人名簿の名簿登載について

選挙管理委員会事務局
☎内線2364

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書は、農業委員会または各支所・出張所へ1月10日(水)までに提出してください。申請書は、各嘱託員を通じて該当世帯へ配布しています。新たに該当することとなった人は、選挙事務局または各支所・出張所に申請書を用意していますのでお申し出ください。

選挙人名簿に載っていないと投票もリコールの請求もできなくなりますのでご注意ください。

申請書には、平成19年1月1日現在の状況で記入してください。

調製された名簿の縦覧期間

2月23日(金)～3月9日(金)まで

名簿の確定期日 3月31日(土)

臨時嘱託職員を募集します

文化振興課商館復元推進班
☎内線2634

平戸和蘭商館1639年築造船庫復元に関する業務を行う臨時嘱託職員を次のとおり募集します。

職種 技術吏員

資格 年齢おおむね65歳までの普通自動車免許保持者で、大学の建築学科を専攻し平成19年3月卒業見込みのある人、または平成18年3月以前に卒業した人、あるいは1級建築士もしくは2級建築士のいずれかの資格を持っている人

募集人員 1人

職務内容 平戸和蘭商館1639年築造船庫復元に関する業務

雇用条件

身分 臨時嘱託職員

雇用期間 4月1日(日)～平成23年3月31日(火)

勤務先 文化振興課

勤務時間 午前8時30分～午後5時15分(週40時間)

休日 土・日、祝祭日

給与 月17万円(所持資格による)

年齢 65歳まで(平成19年4月1日現在の満年齢)

応募締切 1月31日(水)

選考方法 面接試験による選考

選考日時・場所

2月中(後日通知します)・市役所会議室

応募方法 所定の臨時職員登録

申込書に必要事項を記入して平戸市教育委員会文化振興課和蘭商館復元推進室(〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3)へ提出してください。

※市販履歴書でも可

※市所定の臨時職員登録申込書は左記アドレスからもダウンロードできます。

<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/file/temp/4608117.pdf>

公営住宅の

入居者募集

都市計画課総務住宅班
☎内線2284

入居申込みをされる人は、申込書に添付書類を添えて、都市計画課、または各支所建設課にお申込みください。

募集戸数 12戸(平戸地区3戸、生月地区3戸、田平地区6戸)

提出期限 1月15日(月)

※郵送でも受け付けます。

住宅の種類 ①市営住宅②市営一般住宅③特定公共賃貸住宅

申込資格 原則として、次の全ての要件を満たしていることが必要です。

①収入が公営住宅法施行令に定め

られた基準内であること。

②住宅に困っていること。ただし、特定公共賃貸住宅は除く。

③地方税などの滞納がないこと。

④特定公共賃貸住宅については、同居または同居しようとする親族があること。

※詳しくは、お問い合わせください。

お正月のイベント情報

生月町博物館・島の館
☎533000

『正月の昔遊び体験』

とき 1月3日(水)～8日(月)

内容 メンコ、コマまわし、紙相撲ほか

『生月の正月行事紹介』

とき 1月3日(水)～8日(月)

内容 生月の正月に行われる行事を紹介します。

『館内説明』

とき 1月3日(水)～4日(木) 午前10時～午後2時(1日2回)

内容 捕鯨やかくれキリシタンのことなど博物館職員が館内を回りながら分かりやすく説明します。

※入館者に限りません。予約をいただければその他の時間でも対応します。

米の生産調整の仕組みなどが変わります

農林課農務班
☎内線2261

これまで行われてきた水田における生産調整は、平成19年度から制度が改正され、新たにスタートします。

○平成19年産米から、生産調整方針作成者（JAまたは農業者など）が生産数量目標（米の作付目標）を農業者に配分します。

○産地づくり交付金などの交付対象者は、平成19年から生産調整方針作成者が行う生産調整（作付計画）に協力した人に限られます。

◎産地づくり交付金交付要件

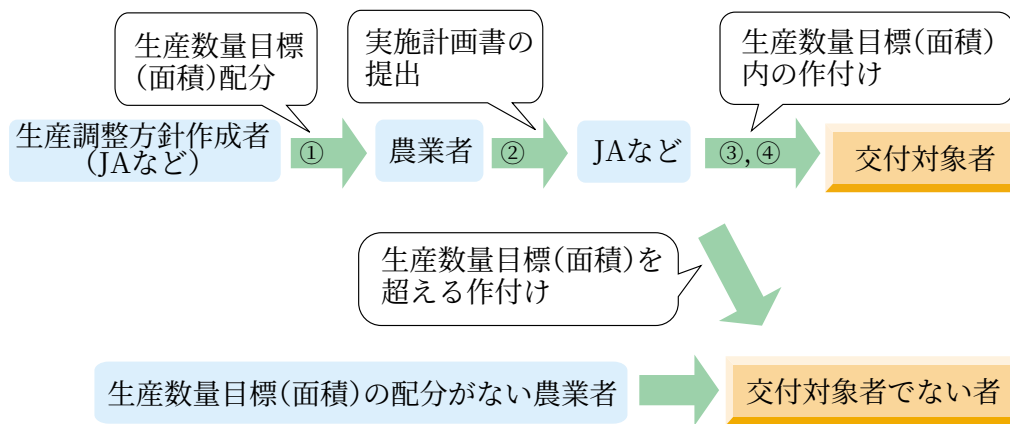
①生産数量目標（※）の配分を受けること。

②実施計画書（作付計画）を方針作成者に提出すること。

③生産数量目標内（米の作付目標内）の作付けで、生産調整を達成すること。

④集荷円滑化対策に加入すること。
※生産数量目標の配分を受けるためには次のいずれかを選択する必要があります。

- I JAの生産調整方針に参加（最寄りのJAにご相談ください。）
- II 新たに生産調整方針を作成した団体に参加
- III 新たに生産調整方針を作成（自らが生産調整方針作成者になる。）



前回大会のスタートの様子（宮の浦バス停）

第37回平戸縦断駅伝大会のお知らせ

生涯学習課社会体育班
☎内線2624

今年度で第37回を迎えます平戸縦断駅伝大会を1月14日（日）に開催します。力走する選手へのご声援をよろしく願います。
また、国道383号線の渋滞が予想されますので、通行車両のご協力をよろしく願います。

選手通過時間

区	区 間	出発時間	到達時間	所要時間	距離
1	宮の浦バス停～船越バス停	10時00分	10時23分	23分	7.3km
2	船越バス停～志々伎バス停	10時23分	10時31分	8分	2.5km
3	志々伎バス停～上中津良バス停	10時31分	10時54分	23分	7.1km
4	上中津良バス停～ふれあいセンター前バス停	10時54分	11時15分	20分	6.1km
5	ふれあいセンターバス停～神上バス停	11時30分	11時50分	20分	6.4km
6	神上バス停～千里ヶ浜	11時50分	12時10分	20分	6.3km
7	千里ヶ浜～平戸文化センター	12時10分	12時31分	21分	6.4km

県立長崎シーボルト大学 『メディアフォーラム』

〒095-8131 5500
095-8131 5500
県立長崎シーボルト大学

毎年、筑紫哲也氏(TBSニュース23キャスター)をお迎えして開催しています「県立長崎シーボルト大学メディアフォーラム」。今回は平戸市を会場に、地域の歴史文化の発掘、伝承、また、それを生かしたまちづくりについて考えます。



筑紫 哲也氏

○とき 2月11日(日)

午後12時30分～午後4時30分

○ところ 平戸文化センター

○テーマ 「地域の歴史文化発掘、伝承、活用とまちづくり」

○出演者

白濱 信氏(平戸市長)

町田 雅之氏(平戸温泉城下雛まつり実行委員)

村 節雄氏(木ヶ津町千灯籠春祭り実行委員長)

田中 まき子氏(観光ボランティアガイド)

○受講料 無料

森林組合からのお知らせ

〒28-0151
28-0151
平戸市森林組合

森林組合では、造林事業(造林、間伐、除伐)への補助申請(スギ、ヒノキの造林については、人工伐採跡地のみとします)と、植木用苗木(スギ、ヒノキ、マキ、コナラ、クヌギなど)の申込みを1月末まで受け付けています。詳しくは平戸市森林組合までお問い合わせください。

ご存じですか?

「検察審査会」

〒22-2004
22-2004
国 平戸検察審査会事務局

○検察審査会とは?

選挙権を持つ人の中から選ばれた11人の検察審査員が、検察官が事件を起訴しなかった(不起訴処分)ことの良し悪しを審査するところです。

○審査はどんなときに?

交通事故や詐欺、おどしなどの被害にあったのに「検察官が犯人を裁判にかけてくれない」、選挙違反や汚職など重大な事件を「検察官が起訴しなかったのは納得できない」など、検察審査会に申し立てがあったとき審査を始めます。

○検察審査員の選び方は?

法律の規定により選挙権を持つ人の中から無作為に候補者を抽出します。本市の検察審査員候補者は、235人です。選挙権を持つ人は、どなたでも選ばれる可能性があります。本市の検察審査員候補者となった人には、通知書を発送しています。また、検察審査員に選ばれたときは、検察審査会から通知がありますので、ご協力をお願いします。

小型船舶免許講習のご案内

〒099-2811 7753
099-2811 7753
国 入枝海事事務所

○とき 2月4日(日)

▼受付 午前9時～

▼講習 午前9時30分～

○ところ 平戸文化センター

○対象 お持ちの小型船舶免許の有効期限が1年以内に切れる人、または失効している人

▼更新 有効期限が平成19年2月5日～平成20年2月4日の免許

▼失効 有効期限が平成19年2月4日以前の免許

○受講料および講習時間

▼更新講習 9千円(1時間)

▼失効講習 1万5千円

(2時間20分)

※基本料金、写真代を含む
○持参するもの 海技免状、住民票(本籍記載のもの)、受講料
※写真は当日撮影します。

110番 地域を守る ホットライン

〒22-3110
22-3110
平戸警察署

毎年1月10日は「110番の日」です。「110番」は、今、事件が発生した、犯人が逃走した、交通事故が発生したといった緊急の内容を警察に通報する電話です。「110番」をかける時は、「家庭の加入電話」「携帯電話」などすべて市外局番なしの「110」をダイヤルしてください。通報するときには係員に、

①「事件」か「事故」か

②発生場所は「〇〇市」「〇〇町」、近くの店など目印となる目標物

③犯人は、どんな服装で、どんな手段(車で?走って?) どちらの方向に逃げた

④怪我など、被害の有無

⑤あなたの氏名、電話番号などを伝えてください。

※相談や免許証の更新、落とし物の届け出など緊急でない場合は、平戸警察署にお問い合わせください。

第4回全国ほんもの体験フォーラムのご案内

■NPO法人体験観光ネットワーク
松浦党(松浦体験型旅行協議会内)
TEL 0956-279333

「第4回全国ほんもの体験フォーラムinながさき」が2月10日～12日の3日間、松浦市・平戸市を中心に開催されます。

○とき 2月10日(土)～12日(月)・振替休日

○ところ

【体験ツアー】 長崎市、島原半島、
西海市、佐世保市、壱岐市、小値賀町、松浦党の里(松浦市・平戸市)

【メイン会場】 松浦市文化会館
【分科会】 松浦市文化会館

平戸文化センター

○テーマ 「ほんもの体験」を通じた
地域力の向上と広域ネットワーク
の構築

○内容

【2月10日(土)・11日(日)】
プレイベントツアー
(体験ツアー 県内10コース)

【2月11日(日)】

第1部 事例発表

第2部 記念講演

『心高まる旅』

「体験によって得られる
心の高まり」

○講師 養老 孟司氏

(東京大学名誉教授)

第3部 公開パネルディスカッション
『日本の観光振興を支える
地域の「ほんもの体験」』

第4部 情報交換会

【2月12日(月)・振替休日】

第5部 課題別研究分科会

▼第1分科会

「ほんもの体験がもたらす
教育効果」

▼第2分科会

「広域連携とコーディネート
組織が成功の鍵」

▼第3分科会

「農山漁村振興と過疎対策は
体験型観光で」

▼第4分科会

「団塊の世代への対応と
マーケットの拡大」

○申込締切日 1月31日(水)

○申込み

松浦鉄道(株)MR旅行サービス

TEL 0956-235238

FAX 0956-235681

出生

元気な
よい子に

赤ちゃん

保護番号

行政区

【平戸地区】

松永 倉和 倉次郎 中の崎

寺田 仁咲 卓也 主師

吉本 壮哉 昇三 戸石川

木場 夢希 基之 大久保

染川 幹太 浩三 津吉元

柳原美佐子 盛二 高越

滝山 瑛心 兼多 大久保

日高 瑠愛 剛 堤

安田 紗菜 康喜 戸石川

石井 友貴 正樹 築地町

岩村 純那 泰光 稗田

松尾 紗梨 桂宏 川内在

【生月地区】

田中 佑奈 康一 山田

吉田 菜海 茂彦 館浦屋敷

田中 咲智 健司 浦北

川村 美鈴 和義 元触

【田平地区】

納屋巖太郎 貴樹 日の浦

田川 沙音 豊明 生向

立石 静華 健一 下亀

松田 優依 格栄 上里

内川 悠平 昌彦 坊田

【大島地区】

白石 佳鈴 0歳 12/2 大根坂

大久保幸一 82歳 11/10 新町

大山 武雄 95歳 11/10 度島三免

針尾 茂男 74歳 11/21 堤

土田 キクエ 87歳 11/23 木場

藤山 ハナ 84歳 11/27 高麗町

打田 キン 99歳 11/25 田助浦

岡島喜代子 87歳 11/27 薄香浦

大石 喜一 81歳 11/30 神船

横山 佐一郎 76歳 12/1 宝亀第1

吉岡 福義 84歳 12/3 肥

竹内 ルヨ 98歳 12/4 鮎川

大串トシ子 79歳 12/6 職人町

鴨川ミヤ子 83歳 12/7 中の崎

山口 進 64歳 12/11 薄香浦

竹田 巖 72歳 12/12 稗田

山田矢代美 63歳 12/7 獅子第3

【生月地区】

戸田 米市 71歳 11/11 浦北

大久保トク 88歳 11/19 浦南

永澤豊四郎 88歳 11/25 山田

永澤 建三 69歳 12/2 山田

田淵 弘思 54歳 12/12 館浦屋敷

岳下百合子 69歳 12/13 堺目

【田平地区】

村田 幸夫 89歳 12/3 福岡

種本 トミ 86歳 12/4 下亀

浦田ナミコ 94歳 12/9 下寺

島田 サエ 83歳 12/14 小手田

善意のともしび

ひらどふれあい福祉基金へ

○戸石川町 平野エミ子(亡夫 功)

篤志および香典返しで、次の方々から
ご寄付がありました(敬称略)。

11月の交通事故

件数 7件
死者 1名
負傷者 10名
(重傷)2名 (軽傷)8名

11月末までの 火災救急件数

火災 23件(18件)
救急 1,160件(1,124件)

() 内は昨年同期

表紙説明



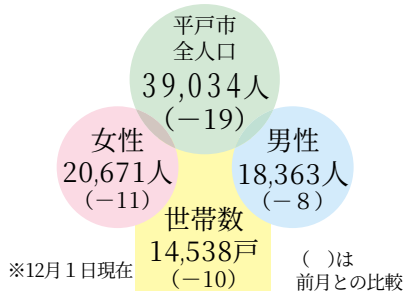
12月19日、志々伎小学校で、親子もちつき大会が行われ、児童や保護者、地域のみなさんなど約130人が参加しました。もち米は、4・5年生の児童が今年総合学習の時間で栽培したものを使用。児童らは、保護者や地域のみなさんの指導の下、きねを重そうに持ちながら一生懸命もちをつきました。

編集室からひとこと

新年明けましておめでとうございます。今年も「広報ひらど」への取材や情報提供などよろしくをお願いいたします。昨年以上に、市民のみなさんから親しまれるような紙面づくりを心がけて編集に臨みたいと思っていますので、市民のみなさんからのご意見やご要望などお気軽に寄してください。

さて、新年最初の特集として今月号では、田平町出身の生物生態写真家「栗林 慧」さんにスポットを当てました。特集に掲載している昆虫の写真は栗林さんからご提供いただきました。世界に誇れる写真家栗林さんの作品をお楽しみください。(Ⓜ)

人口の動き



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

平戸市役所も参加しています。

広報ひらど 平成19年1月号

[編集・発行] 平戸市企画課

〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3

☎0950-22-4111 FAX0950-22-5178

E-mail kikaku@city.hirado.lg.jp

印刷/有限会社ケンホクプリント



古紙配合率100%再生紙、大豆油インキを使用しています。

平戸のひらめを食べに来んね!

おかげさまで10周年!

～平戸 ひらめ まつり～

1月
7日
(日)

4月
8日
(日)



志々伎漁協で水揚げされた天然ひらめを市内の宿泊施設や飲食店で食べることができます。今年は、10周年を迎えることからさまざまな特典をご用意しています。

ひらめまつり7つのお楽しみ!

- 特典1. 各店1品サービス付
- 特典2. 温泉入浴割引券付
- 特典3. 観光施設入館料割引特典
- 特典4. 抽選で「うちわえび」「平戸牛」「海産物セット」のいずれかをプレゼント

■宿泊者限定

- 特典5. 平戸焼 ひらめ箸置き をプレゼント
 - 特典6. 各宿泊施設特典付
 - 特典7. 市内ナイト観光バス運行あり
- さらに、「あんこう鍋」も付いてくる!



▲ひらめ料理例

お問い合わせ 平戸観光協会(☎23-8600)へ

まちかど SnapShot スナップショット

平戸市をぶらり歩いて見つけた素敵なシーンを紹介。



タイトル

『しめ縄づくり』(田助小学校)

市民のみなさんからの投稿をお待ちしています。

平戸市ホームページアドレス <http://www.city.hirado.nagasaki.jp>